

2021年10月  
富士電機株式会社

## MONITOUCH

# 作画ソフト「V-SFT-6」バージョンアップのご案内

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、モニタッチをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、モニタッチ作画ソフト「V-SFT-6」のバージョンアップを行いましたので、ご案内申し上げます。

なお、Ver.6.1.3.0 バージョンアップ案内（2021年10月1日リリース）の展開が遅れ、かつ緊急対応いたしましたV9シリーズのシリアル通信用 CPU 非実装品対応の Ver.6.1.4.0 のバージョンアップ（2021年10月18日）を行いましたので、同時案内となっております。

誠に申し訳ございませんが、ご了承のほど、よろしく願い申し上げます。

敬具

- 記 -

### 1. 製品型式

V-SFT-6

### 2. バージョン

Ver. 6.1.3.0

Ver. 6.1.4.0 ※

※ Ver. 6.1.4.0はV9シリーズ『シリアル通信 CPU 非実装品への変更のご案内』（DRIVE2021A-241 参照）に伴うバージョンアップです。

### 3. 変更内容

パッケージされる各バージョンは以下となります。

シリーズ	項目	変更前	変更後	
作画ソフト	V-SFT-6	V6.1.2.0	V6.1.3.0	V6.1.4.0
V9 シリーズ	本体プログラム	V2.300	V2.400	V2.500
	OS	V4.10	V4.20	V4.30
V8(UG40)シリーズ	本体プログラム	V2.360	V2.380	←
TS2060 シリーズ	本体プログラム	V2.360	V2.380	←

## 4. 追加機能一覧

1. 接続機器（通信ドライバ）追加
  - 1.1. X1/V9 シリーズ：三菱電機 Q170 シリーズ(マルチ CPU)(Ethernet) 接続対応
  - 1.2. X1/V9/V8/TS シリーズ：三菱電機 QnU シリーズ(内蔵 Ethernet ASCII) 接続対応
  - 1.3. X1/V9/V8/TS シリーズ：三菱電機 FX3U/3GE シリーズ (Ethernet) 接続可能ユニット追加対応
  - 1.4. X1/V9/V8/TS シリーズ：ジェイテクト TOYOPUC(Ethernet PC10 モード)TCP/IP 通信対応
  - 1.5. X1/V9/V8/TS シリーズ：Allen-Bradley タグ通信対応
  - 1.6. X1/V9/V8/TS シリーズ：その他 RFID コントローラ(無手順プロトコル) 接続対応
  - 1.7. V9/V8/TS シリーズ：Profibus 通信 入出力バイト数設定 仕様変更
2. X1 シリーズ：マルチディスプレイ機能対応
3. X1 シリーズ：縦置き右 90°対応
4. X1 シリーズ：アプリケーション起動方法追加
5. V9 シリーズ：USB カメラ縦置き対応
6. V9 シリーズ：ネットワークカメラのスナップ画像を回転して保存する機能対応
7. V9 シリーズ：画面データアップロード禁止機能対応
8. V9 シリーズ：OKI COREFIDO プリンタ(型式：B432dnw)対応
9. V9 シリーズ：データ転送サービス機能拡張
10. X1/V9 シリーズ：拡張帳票の PDF 出力品質向上
11. X1/V9 シリーズ：トレンドグラフの常時表示機能対応
12. X1/V9 シリーズ：数値表示・文字列表示の項目選択機能対応
13. X1/V9 シリーズ：サンプリングマクロのバックアップファイル対応
14. X1/V9 シリーズ：スケジューラ機能 動作仕様拡張
15. X1/V9 シリーズ：オーバーラップ制御スイッチの機能拡張
16. X1/V9 シリーズ：パターン、3D パーツビットマップエリアの上限数拡張
17. TS/V8 シリーズ：2038 年問題対応
18. V8 シリーズ：DMC 製タッチスイッチエミュレート対応
19. SignAiEdge：診断モデル作成機能拡張(トレーサビリティ強化)
20. SignAiEdge：ロット管理機能拡張(トレーサビリティ強化)
21. 作画ソフト：アラームサーバーの CSV インポート/エクスポート機能拡張
22. 作画ソフト：複数コピーのデバイスインクリメントのステップ上限数を拡張
23. 作画ソフト：画面データにファイル名を保存する機能を追加
24. 作画ソフト：編集機種 TELLUS Ver.4 で PLC 接続ポート「LAN2」に対応
  - \* 2021 年 11 月リリース予定の TELLUS Ver. 4.0.11.0 で使用可能

## 5. バージョンアップスケジュール

Ver. 6.1.3.0：2021 年 10 月 1 日出荷分よりバージョンアップ

Ver. 6.1.4.0：2021 年 10 月 18 日出荷分よりバージョンアップ

## 6. 添付資料

V-SFT Ver. 6.1.3.0 バージョンアップ情報

## V-SFT Ver. 6.1.3.0 バージョンアップ情報

	V9シリーズ	TS2060シリーズ	V8シリーズ	X1シリーズ
本体プログラム	Ver. 2.400	Ver. 2.380	Ver. 2.380	Ver. 1.200 *
OS	Ver. 4.20			



\* X1のアップデートプログラムはホームページからダウンロードしてください。アップデート手順は同梱の『アップデート手順書』を参照。

### 接続機器（通信ドライバ）追加

#### 1.1 三菱電機 Q170シリーズ(マルチCPU)(Ethernet) 接続対応

対応機種： V9、X1  
 接続機種： 三菱電機 Q170シリーズ（マルチCPU）（Ethernet）

#### 1.2 三菱電機 QnUシリーズ(内蔵Ethernet ASCII) 接続対応

対応機種： V9/TS2060i/V8i(N)、X1  
 接続機種： 三菱電機 QnUシリーズ（内蔵Ethernet ASCII）

#### 1.3 三菱電機 FX3U/3GEシリーズ(Ethernet) 接続可能ユニット追加対応

対応機種： V9/TS2060i/V8i(N)、X1  
 接続機種： 三菱電機 FX3U/3GEシリーズ（Ethernet）

#### 1.4 ジェイテクト TOYOPUC(Ethernet PC10モード)TCP/IP通信対応

対応機種： V9/TS2060i/V8i(N)、X1  
 接続機種： TOYOPUC（Ethernet PC10モード）

#### 1.5 Allen-Bradley タグ通信対応

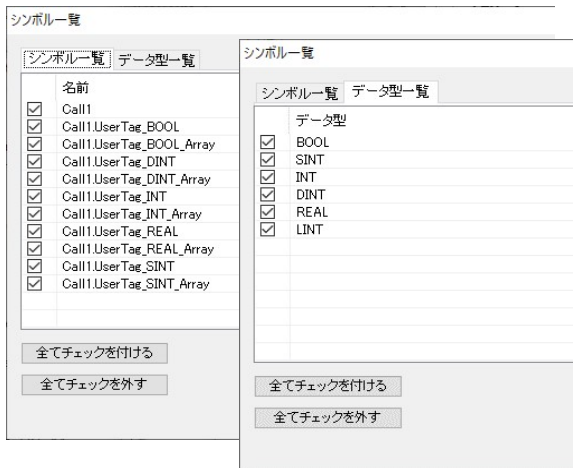
##### 【概要】

以下の作画ソフトの仕様を改善しました。  
 ・ PLC1~PLC8対応  
 ・ タグ名を選択してAND条件によるインポートに対応  
 ・ タグ検索、一覧表示、編集/削除に対応  
 その他、データ型、範囲、パフォーマンスも改善しています。

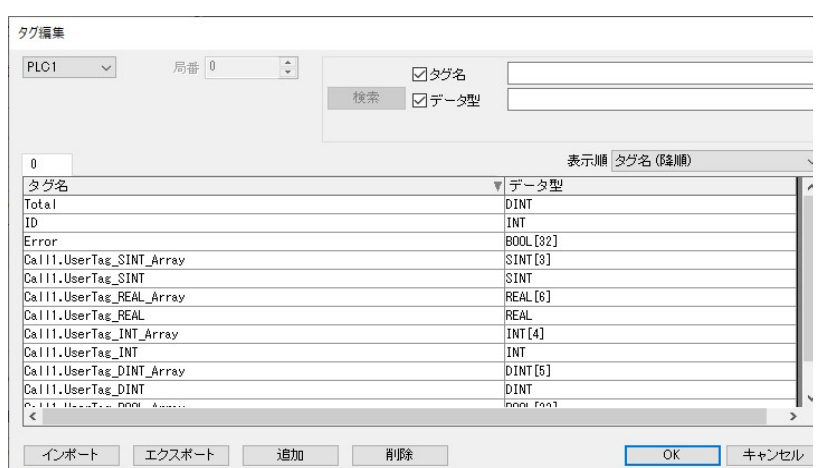
##### 【接続機種】 全てNEW！

- ・ ControlLogix/CompactLogix タグ
  - ・ ControlLogixタグ(Ethernet TCP/IP)
  - ・ Micro800 Controllersタグ
  - ・ Micro800 Controllersタグ(Ethernet TCP/IP)
- \* 従来のPLC機種から上記機種への変換も簡単に行えます。

AND条件によるインポート



タグ編集（検索、編集/削除）



#### 1.6 その他 RFIDコントローラ(無手順プロトコル) 接続対応

対応機種： V9/TS2060i/TS2060/V8i(N)/V8(N)、X1  
 接続機種： その他 RFIDコントローラ（無手順プロトコル）

#### 1.7 PROFIBUS通信 入出力バイト数設定 仕様変更

対応機種： V9/TS2060i/V8i(N)/V8(N)  
 接続機種： Siemens S7 PROFIBUS-DP / 汎用PROFIBUS-DP

## 2 X1 マルチディスプレイ機能対応

対応機種：X1

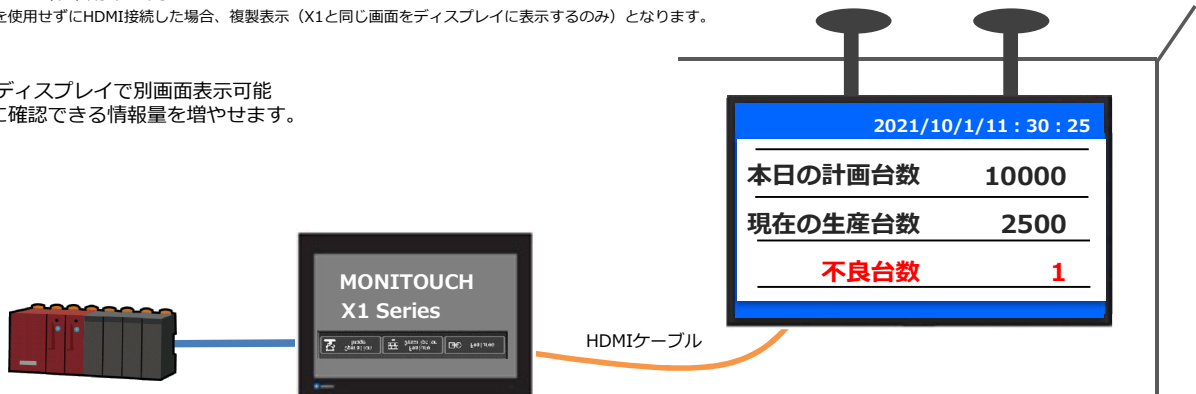
## 【概要】

X1とディスプレイをHDMIケーブルで接続し、それぞれ独立して画面表示/操作が可能です。\*

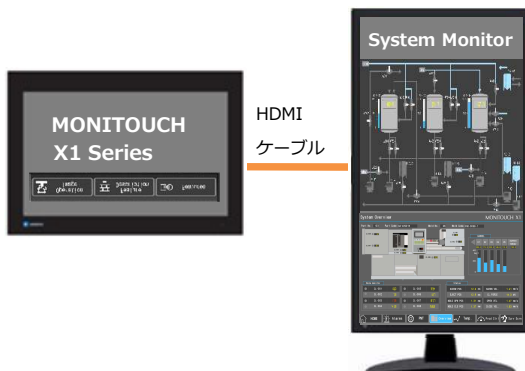
大型のディスプレイで異常発生や現在の生産数/不良数などの情報を現場作業者に周知したり、X1とディスプレイを並べて一度に確認できる情報量を増やすなど、作業効率を向上できます。

\* 本機能を使用せずにHDMI接続した場合、複製表示（X1と同じ画面をディスプレイに表示するのみ）となります。

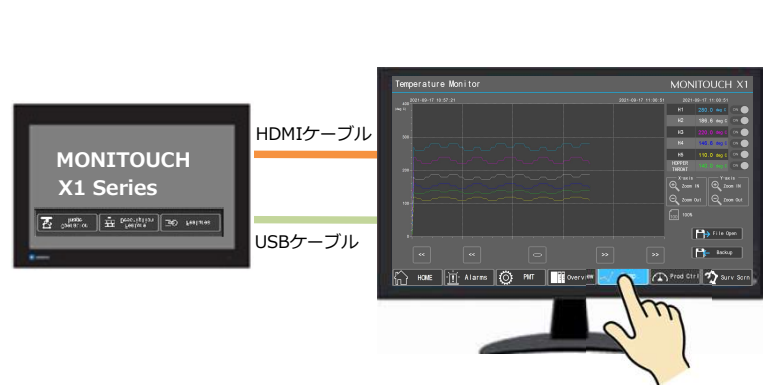
- ◆X1とディスプレイで別画面表示可能  
一度に確認できる情報量を増やせます。



- ◆X1、ディスプレイの縦置き設置可能  
現場の環境、スペースに合わせて設置できます。



- ◆タッチスイッチ付きディスプレイの使用可  
USBケーブルを使って、ディスプレイ側でのタッチ操作が可能です。



- ◆X1とディスプレイで同じ画面データを使用、それぞれ異なる画面データを使用の選択可  
ユーザの使用方法に応じた運用が可能です。



## 【設定箇所】

[システム設定] → [その他] → [マルチディスプレイ設定]

\* 詳しくは『X1リファレンスマニュアル2』参照

## 3 X1 縦置き右90°対応

対応機種：X1

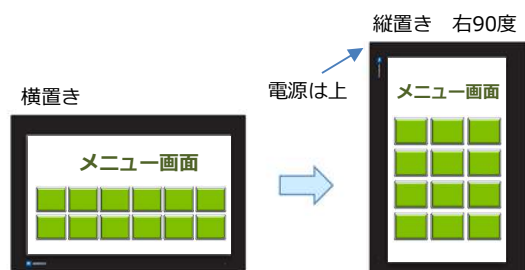
## 【概要】

X1の縦置きに対応しました。

ローカル画面、System Configurator 画面も縦仕様になります。

## 【使用条件】

右90度の縦置きのみ \*電源は上



## 4 X1 アプリケーション起動方法追加

対応機種：X1

## 【概要】

以下の仕様が拡張されました。

マクロを使わないので、簡単に起動の設定が行えるほか、起動タイミングや起動内容のデバイス指定など、より自由度が増します。

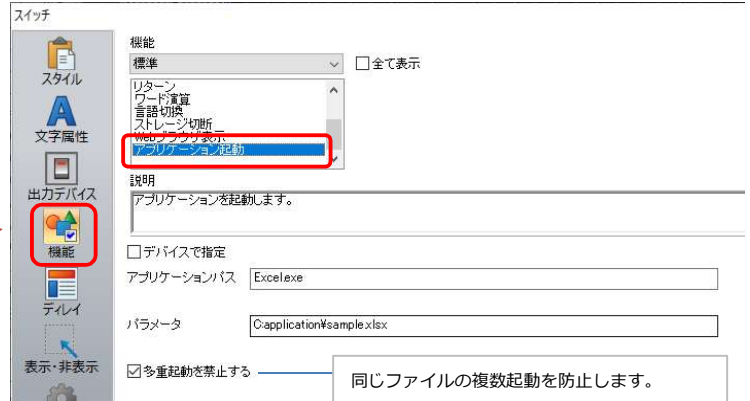
- ・スイッチ機能、PLC指令による起動
- ・起動アプリケーションのパス、パラメータのデバイス指定
- ・同じファイルの複数起動を防止

## 【設定箇所】

## スイッチの場合

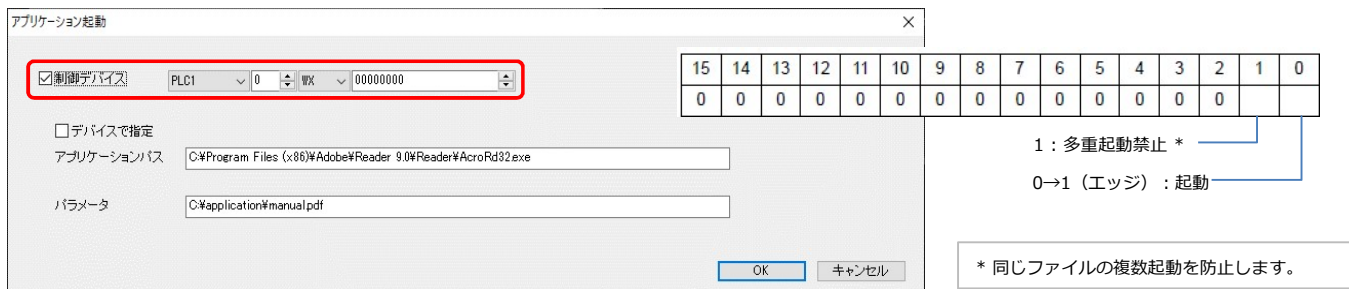
スイッチダイアログ→【機能】→【アプリケーション起動】

スイッチ



## PLC指令の場合

【システム設定】→【その他】→【アプリケーション起動】→【制御デバイス】のチェック



## 5 USBカメラ 縦置き対応

対応機種：V9

## 【概要】

V9縦置き使用時もUSBカメラの使用ができるようになりました。

## 6 ネットワークカメラのスナップ画像を回転して保存する機能対応

対応機種：V9

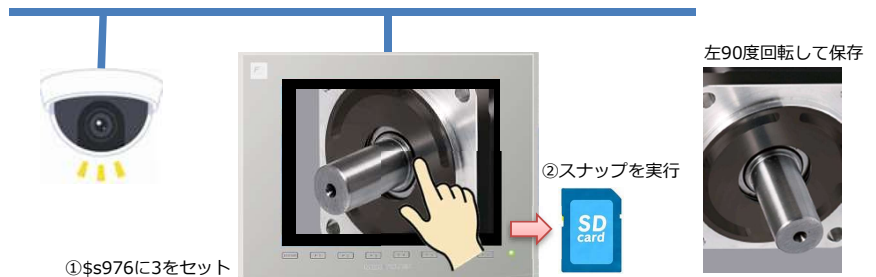
## 【概要】

スナップ画像を回転させて保存できます。

## 【方法】

\$s976に以下の値をセットして、スナップを実行

- 0：回転しない
- 1：右90度
- 2：180度
- 3：左90度



## 7 画面データアップロード禁止機能対応

対応機種：V9

## 【概要】

パソコン、ストレージ全てからの画面データの読み出しを禁止します。

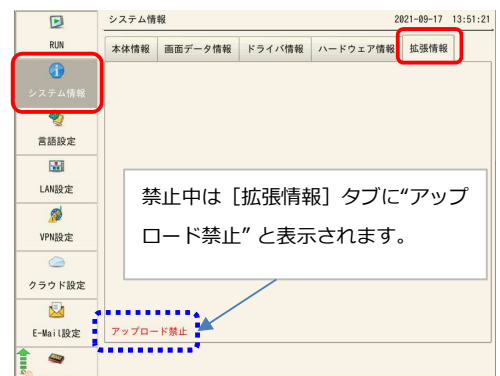
画面データの流出を完全に防止できます。

## 【使用方法】

1. 【ファイル】→【プロパティ】→【転送】→【画面データのアップロードを禁止する】のチェックを入れる
2. 画面データをV9に転送する

## 【解除方法】

【画面データのアップロードを禁止する】のチェックがない画面データを転送する



## 8 OKI COREFIDOプリンタ(型式 : B432dnw)対応

対応機種 : V9  
 接続機種 : プリンタ OKI COREFIDO  
 接続可能型式 : B432dnwのみ  
 接続方法 : USB A、LAN  
 印刷内容 : 画面ハードコピー/ロギングプリント/帳票印刷(拡張含む)/マクロ「OUT\_PR」による印刷 \*ESC/P-R、HP HPLIPと同等

\* OSのアップデートが必要

## 9 データ転送サービス機能拡張

対応機種 : V9

## ■ 空フォルダの転送

## 【概要】

フォルダのダウンロード時、フォルダ内が空の場合でもダウンロードします。



## 【条件】

転送モード : フォルダ単位でダウンロード

## 【設定箇所】

[システム設定] → [データ転送サービス] →  
 [データ転送サービス設定] → レコードの [空フォルダも転送する]  
 のチェック

## ■ 情報出力デバイスに転送結果を出力する

## 【概要】

情報出力デバイス「n+2」（クラウドの場合は「n+4」）に転送結果を出力します。

## 【設定箇所】

[システム設定] → [データ転送サービス] → [データ転送サービス設定] →  
 [情報出力デバイスに転送結果を出力する] のチェック

データ転送サービス設定

情報出力デバイス PLC1 M 01000

情報出力デバイスに転送結果を出力する

指令デバイス 内部 0 \$u 16540-00

レコードNo.0 新規追加

動作設定

レコードNo 0

レコード名 LINE 転送モード フォルダ単位でダウンロード 本体 <- サーバ

転送条件

デバイス PLC1 M 001000

トリガ選択 ON

転送データ設定

サービス ¥

本体 ストレージ選択 C:SD

パス C: ¥

転送フォルダ  デバイスで指定 EXT0000

空フォルダも転送する

情報出力デバイス「n+2」（クラウドの場合は「n+4」）

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

ダウンロード異常終了

アップロード異常終了

ダウンロード正常終了

アップロード正常終了

\* 詳しくは『V9リファレンスマニュアル2』参照

## 10 拡張帳票のPDF出力品質向上

対応機種 : V9、X1

## 【概要】

従来の拡張帳票は文字を画像としてPDF出力していますが、文字をTrueTypeフォントとして、出力できます。

&lt;イメージ&gt;

◆設定なし

Logger

◆設定あり

Logger

## 【設定箇所】

[システム設定] → [本体設定] → [環境設定] → [拡張帳票のPDF出力時に文字描画を鮮明にする]  
 のチェック

## 【使用条件】

・ [システム設定] → [フォント設定] → [フォント種類 : TrueTypeフォント]  
 ・ Windowsフォント未対応

本体設定

バックライト プザー システム/モードスイッチ

環境設定 GD-80E/V609E互換設

表示項目 すべて表示

オーバーラップ表示処理中のタッチ操作禁止

データサンプリング領域内のロギングNo表示(V8互換)

リモートデスクトップ機能をRGB24ビットカラーで接続する

アニメーションの動作(V8互換)

安川メカボス特殊変換(V8互換)

操作ログのPDF出力機能を使用する

拡張帳票のPDF印刷時に文字描画を鮮明にする

TBLWRITEマクロによるダブルワードアクセス(V7互換)

\* 詳しくは『V9リファレンスマニュアル1』参照



## 11 トレンドグラフの常時表示機能対応

対応機種：V9、X1

## 【概要】

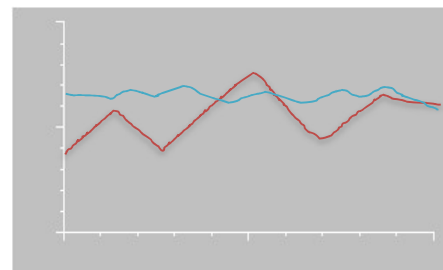
トレンドグラフの表示ポイント数を制御デバイスにセットするだけで、常時表示できます。従来の再描画/再描画クリアビット\*を使わないので、ラダー制御も不要です。

\* 制御デバイスの14ビット目/15ビット目

## 【設定箇所】

トレンドダイアログ→ [グラフ設定] → [常時表示] のチェック

グラフNo.	デバイス	入力形式	データ長	最小値	最大値	表示形式	種類	線幅	カラー
0	XMW1.100	DEC-/BCD	1ワード	0	100	折れ線グラフ		1	赤
1	XMW1.101	DEC-/BCD	1ワード	0	100	折れ線グラフ		1	青



制御デバイス \$u100=100 (表示ポイント数) をセットする

## 【備考】

親子トレンド使用時、親トレンドに [常時表示] の設定があれば、子トレンドも常時表示します。

## 12 数値表示・文字列表示の項目選択機能対応

対応機種：V9、X1

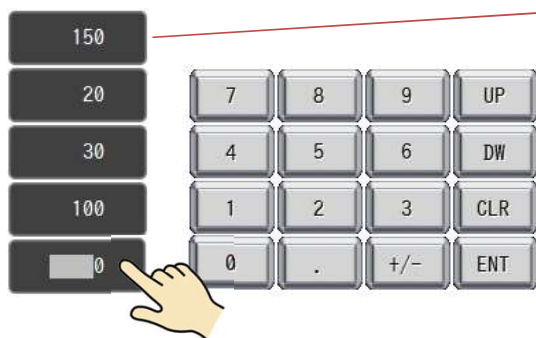
## 【概要】

キーボードと入力対象 (数値表示/文字列表示) がスクリーンに配置されている場合に、入力対象のタッチでカーソル移動できます。透明スイッチ「機能：項目選択」を重ねる必要がなくなり、編集しやすくなります。

インターロックの設定も可能です。

## 【設定箇所】

数値表示/文字列表示ダイアログ→ [機能] → [項目選択を使用する] のチェック



## 13 サンプリングマクロのバックアップファイル対応

対応機種：V9、X1

## 【概要】

ストレージに保存したバックアップファイル表示時、カーソルで選択したデータの取得が可能です。

## 【対応マクロコマンド】

- ・SAMPLE
- ・SYS(GET\_SMPL)/SYS(GET\_SCUR) \*V8互換

\* 詳しくは『V9マクロリファレンス』参照

## 14 スケジューラ機能 動作仕様拡張

対応機種：V9、X1

## 【概要】

時刻指定「デバイス」時、「起動時・カレンダー変更時にも動作する」に対応します。

## 15 オーバーラップ制御スイッチの機能拡張

対応機種： V9、X1

## 【概要】

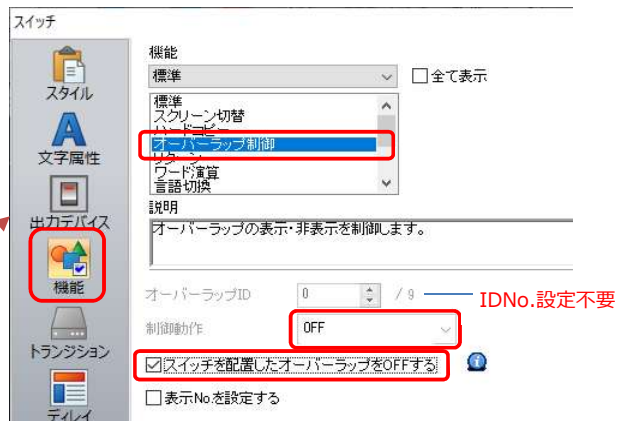
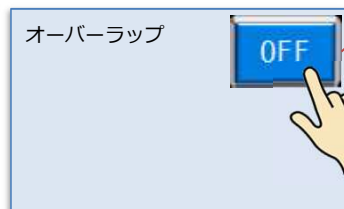
オーバーラップIDNo.を指定せずにオーバーラップをOFFすることができます。  
各スクリーンに登録したマルチオーバーラップIDNo.が違う場合でも、  
画面の登録状況を気にする必要がなくなります。

## 【設定箇所】

スイッチダイアログ→【機能】→【スイッチを配置したオーバーラップをOFFする】  
のチェック

## 【条件】

上記設定をしたスイッチを配置した  
オーバーラップに有効



## 16 パターン、3Dパーツビットマップエリアの上限数拡張

対応機種： V9、X1

## 【概要】

パターン、3Dパーツビットマップエリアの範囲が拡張されました。

パターン： 1024個 → 4096個  
3Dパーツビットマップエリア： 1023個 → 4095個

## 17 2038年問題対応

対応機種： TS2060i/TS2060/V8i(N)/V8(N)

## 【概要】

内蔵時計使用時の時間表示の範囲を、2038年以降も対応できるようにしました。

## 18 DMC製タッチスイッチエミュレート対応

対応機種： V8i(N)+GU-xx (RGB-IN) \* V9はV-SFT Ver. 6.1.1.0で対応済み

## 【概要】

Windows 10のパソコン使用時、DMC製タッチパネルドライバ「DMT-DD」を使用して、タッチスイッチエミュレートが可能です。

## 【必要なもの】

DMC製タッチパネルドライバ 「DMT-DD」  
詳しくは『V9リファレンスマニュアル2』を参照してください。

## 19 SignAiEdge：診断モデル作成機能拡張(トレーサビリティ強化)

対応機種： SignAiEdge

## 20 SignAiEdge：ロット管理機能拡張(トレーサビリティ強化)

対応機種： SignAiEdge



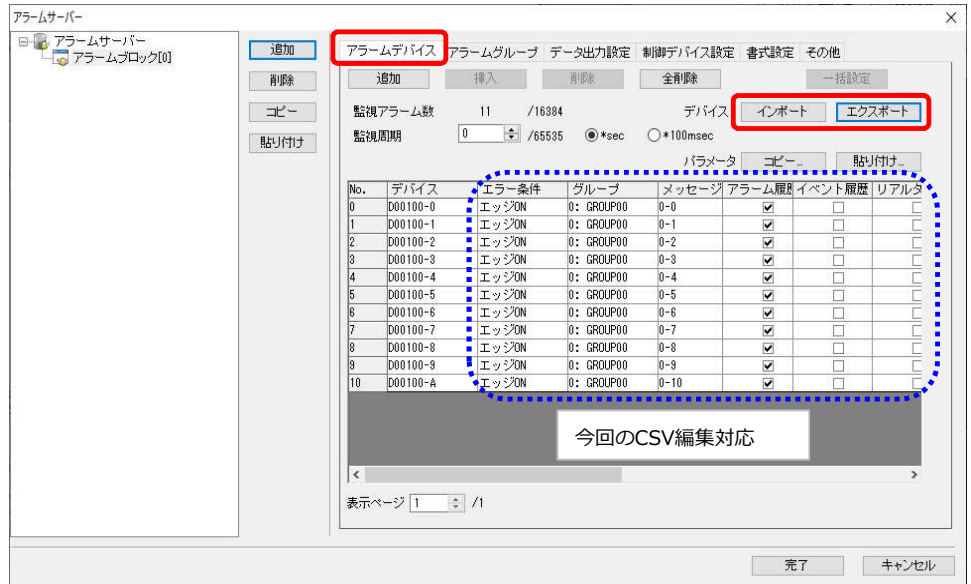
## 21 アラームサーバーのCSVインポート/エクスポート機能拡張

### 【概要】

アラームサーバーのデバイス以外の項目もCSVファイルで編集できます。

### 【設定箇所】

[システム設定] → [アラームサーバー] → [アラームデバイス]



\* 詳しくは『V9リファレンスマニュアル1』参照

## 22 複数コピーのデバイスインクリメントのステップ上限数を拡張

### 【概要】

複数コピーのデバイスインクリメントのステップ数が1~65535まで拡張されました。



1~65535  
まで設定可

## 23 画面データにファイル名を保存する機能を追加

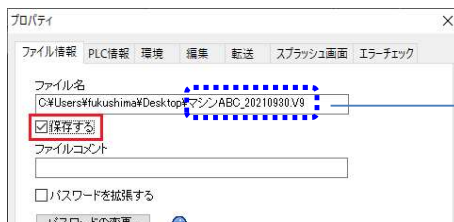
### 【概要】

ファイル名を画面データに保存できます。本体から画面データ読み出し時、転送時のファイル名で保存できます。画面データをファイル名で管理している場合に、当時のデータをファイル名から判断できるので便利です。

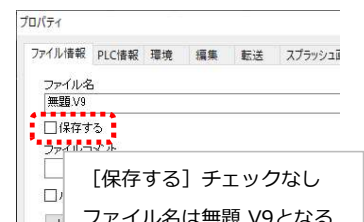
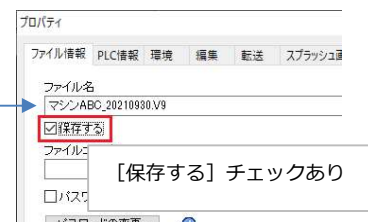
### 【設定方法】

[ファイル] → [プロパティ] → [ファイル情報] → [保存する] にチェックしてから、本体に画面転送する

#### ◆画面転送前 ファイル名は保存先のパスを表示



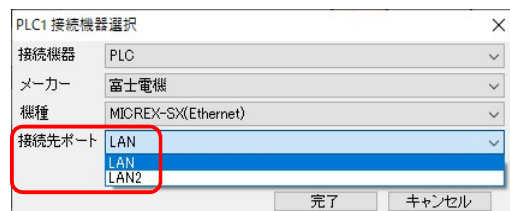
#### ◆本体から画面読み出し時



24 編集機種TELLUS Ver.4でPLC接続ポート「LAN2」に対応

【概要】

【編集機種選択】にてTELLUS Ver. 4選択時、PLCの「接続先ポート：LAN2」の選択が可能です。  
TELLUS-HMI使用時、パソコンにLANポートが2つある場合に、各ネットワークでの通信が可能です。



\* 2021年11月リリース予定 TELLUS Ver. 4.0.11.0で使用可能